

令和3年5月25日

各関係機関の長 殿

国立大学法人宇都宮大学農学部

農学部長 山根健治

【公印省略】

宇都宮大学農学部教員公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび宇都宮大学農学部では、下記の要領により教員（助教）を公募することになりました。貴機関関係者にご周知方よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

謹白

記

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 専門分野 家畜飼養学分野
3. 仕事内容 ①飼料学および代謝学の講義
②動物生産学概論および化学系の専門科目の分担
③生物資源科学科の実験・実習科目(動物生産学系および化学系)の主担当または分担
④データーサイエンス入門（基盤教育科目）の分担
⑤栄養生理化学（大学院修士課程）の講義
⑥卒業論文や修士論文の指導
4. 勤務形態 常勤・任期5年
本公募では、テニユアトラック制による採用となります。宇都宮大学テニユアトラック制に関する要項に基づき、テニユアトラック期間が満了する6月前までにテニユア付与の審査を行い、合格すればテニユアを付与します。テニユア審査は、中間評価及び最終評価により行います。
最終評価の結果、不合格となった場合は、テニユアトラック期間の満了をもって退職となります。
テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。
その他待遇は国立大学法人宇都宮大学職員就業規則に従います。
5. 採用予定日 令和3年11月1日以降のなるべく早い時期

6. 応募資格
- ① 博士の学位（外国において授与された方はこれに相当する学位を含む）を有する者
 - ② 国籍は問わないが、日本語で上記の担当授業科目を実施する能力を有する者
 - ③ 上記の担当授業科目のうち栄養生理化学を英語でも実施する能力を有する者
 - ④ 家畜飼養学分野において優れた研究業績を有し、学部生、大学院生の教育並びに研究指導に熱意を持ち、大学院・学部・学科等の大学運営に関わる業務に積極的に取り組める者
7. 待遇
- ① 給与等 国立大学法人宇都宮大学年俸制給与規程に定めるところによる
(参考) 年俸額 (地域手当を含む)
修士課程修了者(24歳~)の場合 4,253,000円~
博士課程修了者(27歳~)の場合 5,096,000円~
※経験、職歴等により決定
※上記の外、要件を満たす場合に諸手当を支給
 - ② 勤務形態 専門業務型裁量労働制を適用し、労働時間の算定はみなし労働時間（1日7時間45分）による
 - ③ 休日 土・日、祝日、年末年始（12/29~1/3）、学長が指定した日
 - ④ 休暇 年次有給休暇、特別休暇等
 - ⑤ 社会保険等 文部科学省共済組合、雇用保険加入
 - ⑥ 試用期間 無（テニユア付与審査を経て、テニユア取得が可能）
 - ⑦ 雇用者 国立大学法人宇都宮大学
 - ⑧ 勤務場所 宇都宮大学峰キャンパス
8. 応募書類
- ① 履歴書（様式指定） 1部
 - ② 業績調書（様式指定） 1部
 - ③ 教育・研究における抱負（様式指定） 1部
 - ④ これまでの研究内容（A4版用紙に2,000字程度。様式自由）
 - ⑤ 社会貢献に対する抱負（A4版用紙に1,000字程度。様式自由）
 - ⑥ 応募者の研究、人物について照会できる方（2名）による推薦状（A4版用紙に1,000字程度。様式自由）
 - ⑦ 主要な学術論文10編以内（別刷りまたはPDFを印刷したもの）
なお、様式①~③は本学HP
（<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/saiyojyoho.php>）よりダウンロードしてください。
9. 応募締切 令和3年7月9日（金）必着

10. 応募書類の送付先 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

宇都宮大学農学部生物資源科学科 関本 均 宛

※封筒には「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

11. 選考方法 書類選考後、面接と模擬授業等のプレゼンテーションによる二次審査を実施します。二次審査は対面を原則としますが、状況に応じてオンラインによる審査となる場合があります。対面の二次審査を行う場合の旅費等は自己負担となりますので、ご了承ください。

12. 特記事項 ①本学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、女性の積極的な応募を歓迎いたします。特に、本公募では、選考において業績評価が同等と認められる場合には、女性を優先して採用します。
②本学は女性研究者のライフイベントに対応したサポート制度を整え、子育て・仕事の両立支援策を推進しております。
③峰キャンパス及び陽東キャンパスのある宇都宮市は、共働き子育てしやすい街ランキング（日経 DUAL×日本経済新聞の自治体調査）で高い評価を受けています。

13. 受動喫煙防止 全キャンパス敷地内は全面禁煙となっております。

14. 関係規程等 (参考：国立大学法人宇都宮大学テニユアトラック制に関する要項)

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000136.htm

(参考：国立大学法人宇都宮大学テニユアトラック教員の評価及びテニユア審査に関する申合せ)

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000137.htm

(参考：国立大学法人宇都宮大学年俸制給与規程)

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000036.htm

(参考：国立大学法人宇都宮大学職員就業規則)

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000026.htm

(参考：宇都宮大学規程集トップページ)

http://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/

15. 問い合わせ先 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

峰キャンパス事務部農学部係 桐原茉莉子

e-mail : kirihara1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

TEL : 028-649-5399, FAX : 028-649-5171

<付記>

本学部は、東京農工大学および茨城大学とともに連合農学研究科（後期3年だけの博士課程）を構成しており、採用後は連合農学研究科の指導教員資格審査を経て博士課程の教育研究の指導にも携わっていただくこととなります。また、本公募の家畜飼養学分野は、本学の地域創生科学研究科農芸化学プログラムを構成しており、地域創生科学研究科の代議員会を経て博士前期課程の教育研究の指導にも携わっていただくこととなります。

宇都宮大学は、地域の「地（知）の拠点」として地域社会から期待・信頼され、広く社会に貢献する開かれた大学として、「グローバル化社会への対応」、「イノベーション創出」、「活力ある持続可能な地域社会の形成」を目指して、教育・研究・社会貢献を推進しています。

農学部では、生命の営みを遺伝子レベルから個体レベル、集団レベルにおいて研究して、食料生産およびヒトが健康に生きるための食品や日用品の開発、地球上の生態系の保全にも貢献することを目指しています。

生物資源科学科では、食料等の人の生存に欠かせない生活資材を生産する生物資源の機能解明と開発を通じて、生物資源の持続的生産と、地域から地球に至る環境の保全を図るための基本的・応用的な教育研究を行っています。そして、生物資源の合理的な生産と利用に関する理論と実践力を身につけ、グローバルな視点を持ち、農業や関連産業に貢献できるスペシャリストでありながら、ジェネラルな素養を持つ人材の養成を目指しています。

本人事では、家畜飼養学に関する教育研究を通じて、地域に貢献する人材の育成およびイノベーション創出を力強く推進できる人材をテニユアトラック助教として新規採用し、本学部を強化しようと考えています。

なお、生物資源科学科の概要についてはホームページ (<http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>) を参照してください。